

## 令和5年度 第1回下野市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和6年2月16日（金）午後4時00分～午後5時5分
- 2 場 所 下野市役所 3階 303会議室
- 3 出席者 下野市長 坂村哲也

### （下野市教育委員会）

教 育 長	石 崎 雅 也
委 員	石 嶋 和 夫
委 員	佐 間 田 香
委 員	川 田 玲 子

### （事務局関係）

総 務 部 長	倉 井 和 行
総務人事課長	荻 原 剛
総務人事課課長補佐	海 老 原 徹
教 育 次 長	近 藤 善 昭
教育総務課長	高 山 正 勝
学校教育課長	石 島 直
教育総務課課長補佐	平 野 享
教育総務課主事	慶 留 間 遥

4 傍 聴 人 0名

### 5 議 事

- (1) 南河内第二中学校区給食室改修事業について
- (2) 下野市学校適正配置基本計画検証結果報告について
- (3) 学校教育サポートセンター整備事業について

1 開 会 (平野教育総務課長補佐)

2 あいさつ (坂村市長)

給食室の整備については、遅れのないように進めていきます。また石橋地区及び市全体の給食室の在り方についても、子どもたちに温かい給食を効率よく配送しなければならないと考えます。単に老朽化したから整備するのではなく、他の地域を含めて様々な観点から検討していきたいと考えています。学校適正配置基本計画の検証については、委員の皆様から貴重な意見をいただきありがとうございます。私としては国分寺小中学校の校舎について特に思いがあります。昨年の議会でも建て直しについて発言をしています。最善の選択をするためにも南河内小中学校における義務教育学校の検証及び様々な形での検証をしっかりと進めていただきたいと考えています。学校教育サポートセンターについては、議会からも注目されています。丁寧に説明をし理解を得ながら、併せて財源の確保等にも努めていきたいと考えています。

市長部局職員の自己紹介

3 議 事

(1) 南河内第二中学校区給食室改修事業について

(坂村市長) 事務局の説明を求める。

(高山教育総務課長) 南河内第二中学校区給食室改修事業の概要及び今後の事業予定について、資料に基づき説明。

(坂村市長) 委員の皆様から意見を伺いたいと思う。

(佐間田委員) 保護者説明会では、どのような意見が出たのか。

(高山教育総務課長) アレルギー対応が難しくなるのでは、建設工事が遅れた場合どうなるのか、配送時間、設備、配送中の事故対応、学校栄養士の配置、見学スペースの設置などについて意見があったが、特段の不安があるとの意見はなかった。

(石嶋委員) これから食物アレルギー対応が重要になってくると思う。1000食対応であれば、栄養教諭、栄養士2名体制でお願いしたい。

(高山教育総務課長) 国分寺学校給食センターは、県費職員と市の会計年度任用職員の2名体制であり、同様の体制をとれるよう進めていきたいと考えている。

(石崎教育長) センター化により学校給食職員の定数の変更はあるのか。

(石島学校教育課長) 定数の基準は、1校当たり児童生徒数550人以上なら1名、

550人未満なら4校で1名、センターの場合は1500人以下で1名であり、本市の場合は、国分寺給食センター（国分寺小、国分寺東小、細谷小、国分寺中）で1名、石橋中で1名、550人未満の学校が祇園小、緑小、石橋小、古山小、石橋北小、南河内第二中、南河内小中学校前期課程及び後期課程の8校で2名なので定数は4名となる。今後、南河内第二中学校区がセンター方式になった場合は、2つのセンターで2名、石橋中で1名、550人未満の学校が5校で1名となり定数は4名となるため変更はない。

（川田委員） 調理業務委託料は、統合することでどのようになるのか。

（高山教育総務課長） 調理員の数が減る一方で、配送に係る人員や車両等が必要になることから、あまり変わらない見込みである。

（坂村市長） これから地元の皆様にも意見を聴くと思う。できる限り声に耳を傾けていただき対応していただきたいと思う。また、アレルギー対応についても十分な配慮をお願いする。

（坂村市長） （1）南河内第二中学校区給食室改修事業については、ここまでする。

（2） 下野市学校適正配置基本計画検証結果報告について

（坂村市長） 事務局の説明を求める。

（高山教育総務課長） 基本計画に対する検証の概要、課題はおおむね解消しており令和6年度からの次期基本計画を策定する必要はないこと、及び今後の取組を適切に実施するため適正配置の基本方針を定めたことについて、資料に基づき説明。

（坂村市長） 委員の皆様から意見を伺いたいと思う。

（石崎教育長） 細谷小学校は、小規模特認校の取組が順調に進んでおり、令和6年度は複式学級が解消する見込みである。また、地域と共にある学校として今後の取組にも期待できる状況である。

（坂村市長） 小規模校を必要とする児童、家庭がおられると思う。単に人数が少ない学校ということだけでなく、そのあり方を市民の皆様に伝える必要があると思う。

（石嶋委員） 学校適正配置は、単に学級数が基準に満たないことのみで考えるものではないと思うが、学年で2クラスになると芸術系の先生の補充が難しくなる等の問題も生じるので、児童生徒数の減少傾向などを踏まえ、将来を見据えて手だてを考える必要があると思う。

(佐間田委員) 子どもの数は減っているが、発達障害の子は増えているのを感じる。支援が必要な子どもが増える中、通常定数の基準による教員配置では大変だと思うが、どのようになっているのか。

(石島学校教育課長) 基準に基づき学級数に応じた教員が配置される。

(石崎教育長) 文科省は、通級指導教室を増やす方針を示しており、指導教員の加配が見込まれる。また、毎年、下都賀地区の教育委員会連合会として定数増を要望している。

(石嶋委員) 下野市は市費で任用する支援員が充実していると思う。

(坂村市長) 市としても国・県に要望していく。

(川田委員) 細谷小に行きたいが、親の送迎が必要なので行けない家庭もあるのではないかと。スクールバスを活用できないか。

(石島学校教育課長) 南河内小中学校のスクールバスの多目的利用は、休日利用を想定している。今後、時期を見て活用法について検討が必要と考えている。

(坂村市長) (2) 下野市学校適正配置基本計画検証結果報告については、ここまでとする。

### (3) 学校教育サポートセンター整備事業について

(坂村市長) 事務局の説明を求める。

(石島学校教育課長) 建設の経緯、施設・設計概要、今後のスケジュールについて、資料に基づき説明。

(坂村市長) 委員の皆様から意見を伺いたいと思う。

(佐間田委員) 二点ある。一点目は、現在、教育支援センタースマイル教室に来ている児童生徒の交通手段について。二点目は、サポートセンターに設置する若年層の相談窓口の対象者と窓口福祉部門の職員が配置されることになるのかについてである。

(石島学校教育課長) 中学生は一部電車利用がみられるが、ほとんどが自転車通学であり、小学生は保護者の送迎が主である。若年層の相談窓口は義務教育終了後から18歳以下の子どもを対象とした相談窓口として福祉部門の職員の配置を考えている。

(石崎教育長) 以前は、中学生も保護者の送迎が主だったことからすると、自転車通学が多いと聞いて、自発的に行動できる子が増えていることが感じられる。

(川田委員) 自転車通学している子は、石橋地区の子が多いと思われる。他の地区への配慮があっても良いのではないかと。

- (石嶋委員) スマイル教室の利用者内訳は。
- (石島学校教育課長) 少し前のデータだが、入級者は中学生が28名、小学生が2名、仮通級を含めると40名を超えている状況である。
- (石嶋委員) 中学生は、学悠館に夜間中学が設置される。これからは、小学生への配慮も必要と考える。
- (石島学校教育課長) 新しいサポートセンターには小学生のみで過ごせるスペースを設けられるようにしている。
- (石嶋委員) 加えて、一人になれるスペースも必要である。
- (石島学校教育課長) 一人になれるスペースの必要性は把握している。パーティションや相談室の利用で対応したいと考えている。
- (佐間田委員) スマイル教室では、教室に先生がいるのか。新しいサポートセンターの平面図では事務室と教室が離れており、職員がすぐに気づけるのか、子どもが声をかけにくいのではないか気になる。
- (石島学校教育課長) 最低2名が教室に付いている。
- (石嶋教育長) 本整備事業については、関係者である学校等への事前説明が不足していたことを反省している。
- (坂村市長) 今のスマイル教室は通わせにくいとの意見を聞いている。新たな施設では改善されるよう期待している。また、相談窓口により義務教育学校終了後の子への対応にも努めていきたい。川田委員の意見にもあった他の地区の子どもの使いやすさについても注視していきたい。
- 関係者への周知不足については、この件に限らないため全庁的に注意喚起していく。
- (坂村市長) (3) 学校教育サポートセンター整備事業については、ここまでする。

#### 4 その他

- (坂村市長) 最後に委員の皆様から何か質疑、意見等があれば伺いたい。
- (佐間田委員) 関係者から、下野市は不登校への対応が良いという声を聞いている。
- (坂村市長) サポートセンターの対応も大事だが、その前段である学校での教室に行けない子どもへの対応、できる限り学校で解決できればということを入りながら、今後も関係者との話し合いを持ちたいと考えている。
- (坂村市長) その他、意見等はあるか。(特になし)

以上で議事がすべて終了したので、進行を事務局に戻す。

5 閉 会 (平野教育総務課長補佐)